公立大学法人 長野大学

2026年度訪問講義
模 擬 講 義 一　覧

社会福祉学部

タイトル	担当教員	詳細
同じものに注意を向けて会話ができるって不思議	青木 雄一	私たちが普段何気なくしている会話は、簡単なようで非常に複雑な構造があります。特別支援学校にいる自閉スペクトラム症のお子さんを例に一緒に考えてみませんか
社会福祉を学んで先生になろう！	飯塚 秀彦	日本の学校教育において課題とされている、正解主義や同調圧力といった事柄を解決するには、社会福祉の視点が欠かせないということについて生徒のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。
被害と加害について考える	小林 万洋	非行や犯罪と向き合う中で、考えさせること、気づかされることは数多くあります。講義では特に被害と加害の関係に焦点を当てて解説をします。
事例で学ぶ支援のあり方：精神保健福祉の演習授業	塩津 博康	社会福祉の教育では、事例を通して考える授業がたくさんあります。そういう授業のことを「演習授業」と言います。ご興味のある方は、ぜひ一度体験してみて下さい。
「子どもの貧困」とは	鈴木 忠義	「子どもの貧困」と聞いて、みなさんはどんなことをイメージしますか？　この講義では、身近にある「貧困」問題の現状と解決策について、参加者どうしのディスカッションを交えて考えていきます。
福祉の資格と仕事	鈴木 由美子	福祉の仕事に興味はあっても、具体的なことはよくわからない人が多いのではないでしょうか。福祉とはそもそもどういう仕事でどういう分野があるのか、その分野で働くためにどんな資格をとればいいのかご紹介します。
障害者支援って何？	丹野 傑史	身体障害ってどんな障害だろう？身体障害者は生活のどこに困っているのだろう？身体障害者に支援をするとは、何をすることなのだろう？障害者とともに生きる社会をつくっていくための基本的な考え方を身に付けましょう。
探究的・協働的な学びの進め方	早坂 淳	「令和の日本型学校教育」で提唱された「個別最適な学び」と「協働的な学び」は，これからの学校教育での学びの在り方を大きく変えようとしています。高等学校では主として総合的な探究の時間を活用して進められるこれらの学びは，どのように進めていけばよいのでしょうか。このことについて対話を通じて考え合います。
「生きづらさ」と法律による支援	宮原 均	福祉・支援の問題を法律はどのように考えているのか、実際の裁判を参照しながら考えていきます。
「セーフティネット」とは	矢野 亮	私たちの人生には様々な困り事が存在します。セーフティネットとは「生活の安全網（あんぜんもう）」と呼ばれています。この講義では、セーフティネットが私たちが人生で直面する困り事を解消するだけでなく、生活上のリスクに備えることで、安心した生活を保障するものであることを、参加者どうしのディスカッションを通じて考えていきます。